

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 7 月 9 日 (2020.7.9)

【公開番号】特開 2018-68503 (P2018-68503A)

【公開日】平成 30 年 5 月 10 日 (2018.5.10)

【年通号数】公開・登録公報 2018-017

【出願番号】特願 2016-209953 (P2016-209953)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 28 日 (2020.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技区間として、ストップスイッチの有利な操作態様の報知を行わない第 1 区間と、ストップスイッチの有利な操作態様の報知を行うことができる第 2 区間と、
を有し、
第 2 区間において実行された遊技回数を把握するためのカウンタと、
遊技制御手段と、
第 2 区間において点灯可能な L E D と、
を備え、
前記カウンタの値は、第 2 区間での遊技の実行ごとに「1」ずつ更新され、
前記遊技制御手段は、
第 2 区間での遊技において、前記カウンタの値が所定の値になったときは、第 2 区間を終了するとともに次遊技は第 1 区間での遊技となるよう制御し、
特別図柄組合せが停止表示したことに基づいて特別遊技状態を開始し、
第 2 区間、且つ、前記特別遊技状態である遊技において、前記特別遊技状態の終了条件を満たさず、且つ、前記カウンタの値が前記所定の値になったときは、次遊技は、第 1 区間、且つ、前記特別遊技状態の遊技となるよう制御する
ことを特徴とするスロットマシン。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明は、遊技者の射幸心を著しく煽ってしまうことがないスロットマシンを提供することを目的としている。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

上述した課題を解決するために、本発明は、

遊技区間として、ストップスイッチの有利な操作態様の報知を行わない第１区間と、ストップスイッチの有利な操作態様の報知を行うことができる第２区間と、

を有し、

第２区間において実行された遊技回数を把握するためのカウンタと、

遊技制御手段と、

第２区間において点灯可能なＬＥＤと、

を備え、

前記カウンタの値は、第２区間での遊技の実行ごとに「１」ずつ更新され、

前記遊技制御手段は、

第２区間での遊技において、前記カウンタの値が所定の値になったときは、第２区間を終了するとともに次遊技は第１区間での遊技となるよう制御し、

特別図柄組合せが停止表示したことに基づいて特別遊技状態を開始し、

第２区間、且つ、前記特別遊技状態である遊技において、前記特別遊技状態の終了条件を満たさず、且つ、前記カウンタの値が前記所定の値になったときは、次遊技は、第１区間、且つ、前記特別遊技状態の遊技となるよう制御する

ことを特徴とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

上述した発明によれば、第２区間で行われた遊技回数が上限（カウンタの値が所定の値）になると、第２区間から第１区間への移行が行われるので、１回の第２区間中に付与される遊技媒体の量を適正な値に抑制することが可能となり、遊技者の射幸心を著しく煽ってしまうことがない。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

以上のように、本発明のスロットマシンによれば、遊技者の射幸心を著しく煽ってしまうことがない。